



県教委 サイトで公開

951件「文化財ずかん」

県教委は24日、県内の文化財を紹介するウェブサイトを「おおいた文化財ずかん」を公開した。全ての国・県指定を含む951件を掲載。分かりやすい解説文を付け、画像や動画も充実している。県全域の文化財を検索できるデータベースは初めて。「郷土の歴史や文化に関心を深めてほしい」と、幅広い世代の利用を呼びかけている。

文化財の内訳は国・県指定が944件、それ以外のユネスコ無形文化遺産や世界農業遺産などが7件。時代区分や市町村、キーワードで検索すると、小学生向けに1000字程度でまとめた文化財の情報が出る。さらに詳しい解説文や地図サービス「グーグルマップ」での位置情報、写真も載せている。

「3Dで見える文化財」コーナーでは、石造仁王像や修正鬼会などで使われた鬼会面など19件の画像を360度回転させられる。展示施設では見られない方向から見ることもできる。

「ふるさとの先哲」コーナーは大分市出身の日本画家福田平八郎ら18市町村それぞれを代表する文化・歴史・芸術分野の偉人を動画で紹介。各市町村の文化財を巡るウォーキングマップ

「おおいた文化財ずかん」のQRコード



「おおいた文化財ずかん」の画面



「おおいた文化財ずかん」のQRコード

分かりやすい解説文 ■ 3D画像も

文化財ずかん



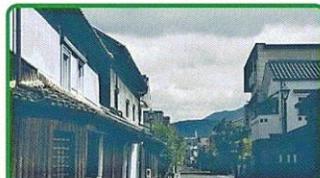
有形文化財とは



無形文化財とは



民俗文化財とは



「おおいた文化財ずかん」の画面。郷土の文化財を分かりやすく紹介している

も掲載している。サイトは昨年3月に暫定版を公開し、内容を充実させて完成した。総事業費は1330万円。県教委の三

重野誠文化課長は「デジタルの良さは情報を更新できること。これからもコンテンツを増やしていく」と話した。(佐藤章史)



〔問①〕 大分県内の国・県指定の文化財は何件ありますか。

〔問②〕 県文化課はデジタルの良さをどのように述べていますか。

〔問③〕 あなたの興味ある文化財を調べ、まとめ、発表しよう。